



2020-3-27

No.20-014

報道関係各位

～L-FRIENDS 活動の新たな柱「環境支援」～
セイブ ジ アース ライオンズ グリーン アップ
「SAVE THE EARTH Lions GREEN UP!プロジェクト」始動
山川選手、森選手も自らのバットで環境支援！



「L-FRIENDS」新ロゴ



新たな社会貢献活動に取り組む山川選手、森選手

株式会社西武ライオンズ（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：居郷 肇）は、当社の社会貢献活動の総称として、2018年3月に地域コミュニティ活動「L-FRIENDS」を発足し、これまで「野球振興」「子ども支援」「地域活性」の3つの柱のもと、野球教室の開催やオレンジリボン運動など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでまいりました。

昨今、プラスチックごみ問題や食品ロス、二酸化炭素の排出による地球温暖化の加速など、環境に関するさまざまな課題が浮き彫りになっており、西武グループでは、持続可能な社会の実現に向けて「サステナビリティアクション」を、また環境分野については「西武グループ環境指針」を策定し、積極的に各種取り組みを進めています。

当社では、野球を通じて時代に沿った社会問題を解決し、持続可能な社会を実現するため、2020年度より、「L-FRIENDS」活動の新たな柱に「環境支援」を加え、「4つの柱」で活動します。これを機にロゴも刷新しました。

「環境支援」の取り組みの一つとして、本拠地メットライフドームでの公式戦開幕日を皮切りに「SAVE THE EARTH Lions GREEN UP!プロジェクト」を発足し、メットライフドームエリアの飲食売店などにおいて一部のプラスチック製品の廃止や削減を行うほか、食品廃棄物を回収し、電気と都市ガス（バイオエナジー）にリサイクルするなど、環境に配慮したさまざまな活動を行います。

また、山川 穂高選手と森 友哉選手が今シーズンから新たに環境支援に関する社会貢献活動をスタートさせます。

さらに、昨年初めて実施した「SAVE LIONS～消えゆく野生のライオンを救うプロジェクト～」を引き続き今年も実施します。

詳細は以下のとおりです。

L-FRIENDS 概要

2018年3月より当社が行っているコミュニティ活動の総称。これまでの「野球振興」「子ども支援」「地域活性」に、今回新たに「環境支援」の取り組みを加え、4つの柱として、よりすこやかな社会、のびやかな未来を目指しさまざまな活動を行います。

また4つの柱で活動するにあたり、ロゴも刷新しました。地域・ファン・選手・スタッフを、個性的な形を持つハートで表現し、それらが集まり、心がつながって未来へ向けて花開くプロジェクトであることをデザインしました。このハートの一つひとつは、LIONSの「L」も表現しています。

(L-FRIENDS 特設サイト／<https://www.seibulions.jp/lfriends/>)



「SAVE THE EARTH Lions GREEN UP!プロジェクト」概要

当社としての取り組み

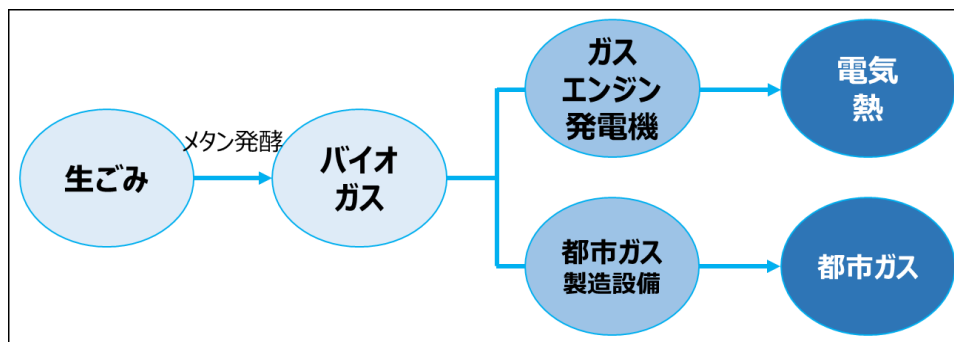
- ・昨シーズンまでメットライフドームエリアの飲食売店などで、コールドリンク等の提供時に使用していたプラスチック製のふたの提供数削減。プラスチックストローの提供廃止と紙ストローの導入。
※一部、商品の特性上プラスチックストローを使用する場合があります。



<参考>

昨シーズン提供実績（当社調べ）： プラスチック製のふた 約 28 万個
プラスチックストロー 約 12 万本

- ・メットライフドームエリアにある約 70 店舗の飲食売店とお客さまエリアに設置する専用のごみ箱から回収した食品廃棄物をバイオガス化（メタン発酵処理）し、電気と都市ガスにリサイクル。



処理プロセスのフロー

- ・経済産業省が、2020 年 7 月 1 日より全国でプラスチック製レジ袋の有料化を行うと発表したことを受け、メットライフドームエリアの飲食売店などやグッズ売店の商品販売時に使用するレジ袋において、有料化の対象外となる「バイオマス素材の配合率が 25%以上のレジ袋（※1）」や「プラスチックのフィルムの厚さが 50 マイクロメートル以上のレジ袋（※2）」を導入。

（※1）地球にやさしい「バイオマス素材」の配合率が 25%以上を占めるレジ袋については、バイオマス素材がカーボンニュートラルな素材であり、地球温暖化対策に寄与することから、有料化の対象外のレジ袋として認定されています。

（※2）プラスチックのフィルムの厚さが 50 マイクロメートル以上であり繰り返し使用が可能であることから、プラスチック製レジ袋の過剰な使用抑制に寄与するため有料化の対象外のレジ袋として認定されています。

<対象となる店舗>

【飲食売店】

- ・ドーム内ショップ
- ・ドーム外ショップ

【グッズ売店】

- ・ライオンズ チームストア フラッグス
- ・ライオンズ チームストア ゲートサイド
- ・ライオンズストア@メットライフドーム場内店舗
- ・ライオンズストア@大宮アルシェ
- ・ライオンズストア@所沢ステーション
- ・ライオンズストア@西武池袋本店
- ・ライオンズストア@本川越ペペ

【その他】

- ・ファンクラブカウンター

※上記店舗では、2020 年 7 月 1 日までに順次レジ袋を切り替えていく予定です。

選手による環境支援に関する取り組み

◆山川 穂高選手

<活動内容>

2020 シーズン公式戦において本塁打1本につき 10,000 円を積み立て、合計金額の半分を彩の国みどりの基金へ、残りの半分を公益社団法人沖縄県緑化推進委員会に寄付

<コメント>

昨年の春にこどもが生まれ、父として、また大人として未来のためにできないかを考えるきっかけになりました。そんな中、持続可能な社会が世界的にもテーマになっていることを聞きました。

僕の苗字には自然に関する文字が入っていることもあり、また森選手の苗字も自然に関する文字なので一緒に環境支援をテーマに活動することを決めました。僕のホームランが素晴らしい未来へのアーチ(架け橋)になるよう、一打席一打席大事に臨みたいです。

<プロフィール>



出身地：沖縄県

出身校および球歴：中部商業高校～富士大学～埼玉西武ライオンズ

生年月日：1991 年 11 月 23 日

入団：2014 年ドラフト 2 位で入団

成績：2017 年月間 MVP (8 月、9 月 10 月)

2018 年月間 MVP (3 月 4 月、9 月 10 月)

2018 年オールスター出場

2018 年最優秀選手賞、最多本塁打者賞、ベストナイン

2019 年月間 MVP (3 月 4 月)

2019 年オールスター出場、第 1 戦 敢闘選手賞

2019 年最多本塁打者賞、ベストナイン

◆森 友哉選手

<活動内容>

2020 シーズン公式戦において安打 1 本につき 2,500 円を積み立て、合計金額の半分を彩の国みどりの基金へ、残りの半分を堺市都市緑化基金と堺市緑の保全基金に寄付

<コメント>

昨年から社会貢献活動をスタートさせ、歴代の先輩たちが繋いできた活動の重みを感じると共に自分からも何か新しい活動をスタートすることができればと考えていました。

僕の苗字が『森』で、自然に関する文字なので、山川選手も何か活動を始めたいと考えていたので一緒に環境支援をテーマに活動することを決めました。今年も一つ一つヒットを積み重ねて、チームにも社会にも貢献していきたいです。

<プロフィール>



出身地：大阪府

出身校および球歴：大阪桐蔭高校～埼玉西武ライオンズ

生年月日：1995 年 8 月 8 日

入団：2014 年ドラフト 1 位で入団

成績：2015 年オールスター出場、第 2 戦 敢闘選手賞

2016 年スカパー！サヨナラ賞(8 月)

2018 年スカパー！サヨナラ賞(3 月 4 月)

2018 年オールスター出場、第 1 戦 最優秀選手賞

2018 年ベストナイン、最優秀バッテリー賞

2018 年スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞

2019 年オールスター出場、第 1 戦 最優秀選手賞

2019 年月間 MVP(8 月)

2019 年首位打者賞、最優秀選手賞、ベストナイン、最優秀バッテリー賞

「SAVE LIONS～消えゆく野生のライオンを救うプロジェクト～」を今年も実施

昨シーズン行った、絶滅危惧種である野生のライオンの保全を目的とした

「SAVE LIONS ～消えゆく野生のライオンを救うプロジェクト～」を、環境支援の取り組みの一環として今シーズンも実施します。英国オックスフォード大学の調査によると、世界の野生ライオンの生息数は、直近 20 年で約半分にまで減少しており、100 年前と比較すると約 2 割まで激減しているとされています。

そこで、ライオンの保全活動を行っているオックスフォード大学の動物研究機関「Wild CRU^{ワイルド クルー}と連携し、球団のシンボルであるライオンを救うため、今シーズンも以下の活動を継続します。



＜実施内容＞

- ・ 2020 シーズン公式戦のホームゲームにおける当球団の選手のホームラン 1 本につき 1 万円を“Wild CRU”へ寄付
- ・ SAVE LIONS プロジェクト専用の寄付口座を昨年に引き続き開設

＜口座情報＞

みずほ銀行 所沢支店（支店コード：558）
口座番号：普通 3006348
口座名義：株式会社西武ライオンズ

※手数料はお振込み者さまのご負担となります。

＜活動実績＞

- ・ 2019 シーズン結果：本塁打数：86 本／寄付金総額：2,580,601 円
- ・ 第 2 回 SDGs CREATIVE AWARD(主催：SDGs クリエイティブ アワード 実行委員会)にて「SDGs ローカルアクション映像大賞」を受賞
- ・ PR アワードグランプリ 2019(主催：公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会)にて「ゴールド」を受賞
- ・ スポーツ PR アワード 2019(主催：スポーツナビ株式会社)にて「最優秀賞」を受賞

＜参考＞

SAVE LIONS プロジェクト特設サイト／<https://www.seibulions.jp/special/savelions/>
特設 Twitter／@SAVELIONS_PJT

参考1：選手によるその他の社会貢献活動

また、栗山 巧、内海 哲也、増田 達至、武隈 祥太、外崎 修汰の5選手につきましても、昨シーズンに引き続き、社会貢献活動を継続していく予定ですが、2020 シーズンから山川選手、森選手に加えて、新たに今井 達也投手も社会貢献活動に取り組みます。

◆今井 達也投手

<活動内容>

～所沢市の知的障がい児や肢体不自由児をご招待～

- ・「所沢市手をつなぐ親の会」へ、メットライフドームの年間予約席を栗山 巧選手、森 友哉選手と共に寄付します。

※本活動は、球団本部チーム統括部 編成グループ ディレクターの潮崎 哲也が現役時代から始めた活動であり、歴代ライオンズ所属選手(小野寺 力氏・星野 智樹氏・石井 義人氏・栗山 巧選手・炭谷 銀仁朗選手(現・読売巨人軍)、浅村 栄斗選手(現・東北楽天ゴールデンイーグルス)、森 友哉選手)がバトンを受け継ぎ、現在も活動が行われています。

<コメント>

ライオンズの先輩である潮崎さんから始まったこの活動を、投手の僕がつないでいけることに身が引き締まる思いです。先輩の栗山選手や森選手の姿を見て、この活動を通じて僕自身も成長していきたいです。この一年間、投手陣の軸として1試合でも多く球場が湧くような力強いピッチングでチームの勝利に貢献して、この年間シートで見に来てくれる方々に楽しい時間を過ごしてもらいたいです。

<プロフィール>



出身地：栃木県

出身校および球歴：作新学院高校～埼玉西武ライオンズ

生年月日：1998 年 5 月 9 日

入団：2017 年、ドラフト 1 位で入団

◆彩の国みどりの基金

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/midorisaisei-top/kikin.html>

◆公益社団法人沖縄県緑化推進委員会

http://www.oki-green.or.jp/?page_id=35

◆堺市都市緑化基金

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/koen/kikin/shokuchika/index.html>

◆堺市緑の保全基金

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/koen/kikin/hozen/index.html>

◆所沢市手をつなぐ親の会

所沢市に在住する知的障害児や肢体不自由児とご家族が集まり、教育・福祉・生活・労働・医療への理解を高めていただく活動を目的としている団体。

参考2：西武グループのサステナビリティアクションについて

西武グループでは、グループビジョンに基づく幅広い事業・サービスにより、社会形成への課題対応を図ることで、持続的かつ力強い成長を目指しております。当グループでは、環境、社会、ガバナンスなど一般的に「ESG 活動」と呼ばれる活動を「サステナビリティアクション」と呼び、グループ全社で取り組んでおります。

また、当グループでは、事業環境等を踏まえ、SDGsで示された17の国際目標に対し、特に取り組むべき4領域(安全・安心、環境、社会、会社文化)、12項目のアジェンダ(重要テーマ)を設定し、アジェンダに沿った取り組みを積極的に進めております。

＜グループ各社の主な取り組み＞

・自然エネルギーの活用

西武鉄道、プリンスホテル、近江鉄道などで太陽光発電、水力発電、地熱を活用した冷暖房設備の運用などを進めています。

・プラスチックごみの削減

西武鉄道、プリンスホテルなどでは、プラスチック製ストローや配布するビニール袋の廃止に加え、アメニティの資材変更、リサイクルなどを順次行うことでプラスチックごみ削減に努めています。

・食品廃棄ロスの削減

プリンスホテルでは啓発ポスターなどの掲示や一部レストランにおいて9分割プレートを使うほか、食品残渣の堆肥化や軽量化により食品廃棄ロス削減に努めています。

◆西武グループ サステナビリティアクションへの取組

<http://www.seibuholdings.co.jp/group/csr/>

◆西武グループ環境方針(2019年11月1日 西武ホールディングス プレスリリース)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9024/tdnet/1762685/00.pdf>

領域	アジェンダ
安全	安全安心
環境	温室効果ガス削減
	廃棄物削減
	水資源の確保
	森林や生物保護
社会	沿線・周辺自治体活性化
	ユニバーサルデザイン対応
	少子高齢化
会社文化	働き方改革
	多様な人材雇用
	従業員教育・管理
	コンプライアンス

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL. (0570)01-1950(平日 10時～18時)